

2027年度

入 学 者 選 拔 要 項

尾 道 市 立 大 学

目 次

1. 入学定員、募集人員	1
2. 入学者選抜実施日程	1
3. 学校推薦型選抜	2
4. 一 般 選 抜	5
5. 私費外国人留学生選抜	9
6. 障害等のある入学志願者との事前相談	9
別添1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して	10
別添2 芸術文化学部日本文学科の「高等学校入学以降の主体的な取り組み」への加点に関して	11
別添3 芸術文化学部美術学科の実技検査および面接の実施内容	12
7. 出願方法	13
8. 諸費用（前年度）	14
9. 尾道市立大学へのアクセス	15
入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	16
全学	16
経済情報学科の入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	17
日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	19
美術学科の入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	21
2028年度尾道市立大学入学者選抜（2027年度実施）からの変更点について（予告）	23
【参考】2026年度入学者選抜の結果について	25

入試に関する問い合わせ先

尾道市立大学 〒722-8506	入学試験実施本部 広島県尾道市久山田町1600番地2 TEL 0848-22-8311(代表) 0848-22-8381(直通) FAX 0848-22-5460 (平日 9:00~17:00)
---------------------	--

1. 入学定員、募集人員

学 部	学 科	入学定員	募 集 人 員					私費外国人 留学生選抜
			一般選抜		学校推薦型選抜			
			前期 日程	後期 日程	一般 推薦	特別推薦 ^(※1)		
						A 尾道市内	B 商業・ 総合学科 等	
経済情報	経済情報	200	100	30 ^(※2)	35	7	28	若干名
芸術文化	日本文学	50	30	5	15			若干名
	美 術	50	22	13	15			若干名
合 計		300	152	48	65	7	28	若干名

※1：経済情報学部経済情報学科の特別推薦については、尾道市内にある高等学校等に在籍、または尾道市内に在住している高校生で地域貢献・社会貢献への強い関心を持っている人、商業・総合学科等の高校生で経済・経営・情報を学ぶ意欲の高い人に、特に受験機会を与えるため募集を行います。

※2：経済情報学部経済情報学科の一般選抜 後期日程は、Aコース 15 人（教科・科目に係る個別テストで数学を課す）と、Bコース 15 人（教科・科目に係る個別テストで英語を課す）に分けて募集します。どちらかの選択になります。

2. 入学者選抜実施日程

選抜名称		学部	学科	出願期間（注）	試験日	合格発表	入学手続期間
学校推薦型 選抜		経済 情報	経済 情報	2026年11月2日(月) ～ 11月9日(月)	2026年11月22日(日)	2026年12月1日(火)	2026年12月2日(水) ～ 12月9日(水)
		芸術 文化	日本 文学		2026年11月22日(日)		
			美術		2026年11月21日(土) ～ 11月22日(日)		
一般 選抜	前期	経済 情報	経済 情報	2027年1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2027年2月25日(木)	2027年3月4日(木)	2027年3月5日(金) ～ 3月15日(月)
		芸術 文化	日本 文学		2027年2月25日(木)		
			美術		2027年2月25日(木) ～ 2月26日(金)		
	後期	経済 情報	経済 情報	2027年1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2027年3月12日(金)	2027年3月20日(土)	2027年3月22日(月) ～ 3月27日(土)
		芸術 文化	日本 文学		2027年3月12日(金)		
			美術		2027年3月12日(金) ～ 3月13日(土)		
私費外国人 留学生選抜		経済 情報	経済 情報	2027年1月5日(火) ～ 1月14日(木)	2027年2月25日(木)	2027年3月4日(木)	2027年3月5日(金) ～ 3月15日(月)
		芸術 文化	日本 文学		2027年2月25日(木)		
			美術		2027年2月25日(木) ～ 2月26日(金)		

注 社会状況によって、出願期間等が変更になることがあります。出願期間等については、学生募集要項で確認してください。

3. 学校推薦型選抜

全学部・学科において、学校推薦型選抜を実施します。

(1) 出願要件

次の各項のすべてに該当する者とします。

【経済情報学部 経済情報学科】

(一般推薦)

- ① 2027年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2026年4月以降に卒業した者を含む。）
- ② 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
- ③ 本学のアドミッション・ポリシーに示した入学後の学びに必要な能力や適性などがある志願者として、校長が責任をもって推薦する者
- ④ 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - * 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - * 本学の特別推薦と併願することはできません。
 - * 出身科に制限はありません。

(特別推薦)

A 尾道市内推薦

- ① 2027年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2026年4月以降に卒業した者を含む。）
- ② 尾道市内にある高等学校等に在籍している者、または尾道市内に在住している者
- ③ 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.7以上の者
- ④ 本学のアドミッション・ポリシーに示した入学後の学びに必要な能力や適性などがある志願者として、校長が責任をもって推薦する者
- ⑤ 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - * 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - * 本学の一般推薦または特別推薦（B 商業・総合学科等推薦）と併願することはできません。
 - * 出身科に制限はありません。

B 商業・総合学科等推薦

- ① 2027年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2026年4月以降に卒業した者を含む。）
- ② 高等学校等の商業系学科または総合学科等に在籍し、次のいずれかに該当する者
 - ・ 商業に関する専門科目を20単位以上取得した者および取得見込みの者
 - ・ 情報に関する専門科目を20単位以上取得した者および取得見込みの者
- ③ 調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者
- ④ 本学のアドミッション・ポリシーに示した入学後の学びに必要な能力や適性などがある志願者として、校長が責任をもって推薦する者
- ⑤ 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - * 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - * 本学の一般推薦または特別推薦（A 尾道市内推薦）と併願することはできません。

【芸術文化学部 日本文学科】

- ① 2027年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2026年4月以降に卒業した者を含む。）
 - ② 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.6以上の者
 - ③ 本学のアドミッション・ポリシーに示した入学後の学びに必要な能力や適性等がある志願者として、校長が責任をもって推薦する者
 - ④ 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
- ＊1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

【芸術文化学部 美術学科】

- ① 2027年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2026年4月以降に卒業した者を含む。）
 - ② 芸術（美術）・国語・地理歴史・外国語（英語）の4教科の内、3教科の「学習成績の状況」の平均値が3.4以上で、美術に優れた能力のある者
 - ③ 本学のアドミッション・ポリシーに示した入学後の学びに必要な能力や適性等がある志願者として、校長が責任をもって推薦する者
 - ④ 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
- ＊1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
- ＊専門教育を主とする学科において、「教科『芸術（美術）』の学習成績の状況」が、美術の専門科目の読み替え履修によるものである場合は、その専門科目名と単位数を調査書の備考欄に示してください。

（2）選抜方法

【経済情報学部 経済情報学科】

学 科	推薦種別	選 抜 方 法 等	試 験 科 目	配点
経済情報	(一般推薦)	大学入学共通テストおよび教科・科目に係る個別テストを免除し、基礎学力検査（英語）・小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。	基礎学力検査（英語）	50
			小論文	50
			面接	40
			調査書（注1）	5
			取得資格・検定等（注2）	25
	(特別推薦) A 尾道市内推薦 B 商業・総合学科等推薦	大学入学共通テストおよび教科・科目に係る個別テストを免除し、小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。	小論文	100
			面接	40
			調査書（注1）	5
			取得資格・検定等（注2）	25

注1 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

注2 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。
（10頁 別添1）

【芸術文化学部 日本文学科】

学 科	推薦種別	選 抜 方 法 等	試 験 科 目	配点
日本文学	—	大学入学共通テストおよび教科・科目に係る個別テストを免除し、小論文・口頭試問・学修調書および調査書を総合して選抜します。	小論文	50
			口頭試問	40
			学修調書(学びの履歴と計画) (注1)	
			調査書(注2)	10

注1 「学修調書(学びの履歴と計画)」を出願時に提出してください。記載内容に基づいて「口頭試問」を行います。「学修調書(学びの履歴と計画)」と「口頭試問」の結果を総合して評価します。

注2 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。

【芸術文化学部 美術学科】

学 科	推薦種別	選 抜 方 法 等	試 験 科 目	配点
美 術	—	大学入学共通テストおよび教科・科目に係る個別テストを免除し、実技検査・小論文・面接および調査書を総合して選抜します。	実技検査(注1)	50
			小論文	20
			面接(注1)	25
			調査書(注2)	5

注1 実技検査と面接の詳細については別添3(12頁)を参照してください。

注2 調査書の「指導上参考となる諸事項」に記載された事項から、「主体性を持って学ぶ態度」「多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。なお、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等を「備考欄」に具体的に記載してください。

(3) そ の 他

詳細については、「学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

4. 一 般 選 抜

(1) 出願要件

次の各項のいずれかに該当し、令和9年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験した者
とします。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2027年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

*学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者については、本学における個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。申請期限は次のとおりです。詳細については、お問い合わせください。

- ・大学入学共通テストに出願しようとする者 2026年8月28日(金)
- ・大学入学共通テスト出願後に、入学資格審査を希望する者
大学入学共通テスト出願期間終了後～2027年1月18日(月)

(2) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が行う教科・科目に係る個別テスト(美術学科においては、実技検査)および調査書等の内容を総合して行います。

【経済情報学部 経済情報学科】

日程		募集 人員	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト等			配点 合計
			教科・科目名		配点	教科・科目名等		配点	
前期	100	国語	『国語』		から3 *100 計300	数学	『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』 (注1)	200	750
		地理 歴史	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』						
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』						
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』			外国語	『英語コミュニ ケーションⅠ』、 『英語コミュニ ケーションⅡ』	200	
		情報	『情報Ⅰ』						
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』						
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』			調査書(注2)		25	
						取得資格・検定等(注3)		25	
		[3科目] 計		300	計		450		
後期	A コース 15	国語	『国語』		から3 *100 計300	数学	『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』 (注1)	200	550
		地理 歴史	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』						
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』						
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				調査書(注2)	25	
		情報	『情報Ⅰ』						
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』						
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』			取得資格・検定等(注3)		25	
		[3科目] 計		300	計		250		

B コース	15	国語	『国語』	から3	*100 計300	外国語	『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』	200	550
		地理 歴史	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』						
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』						
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』						
		情報	『情報Ⅰ』			調査書(注2)		25	
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』			取得資格・検定等(注3)		25	
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』						
		[3科目] 計				300	計		

注1 教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目名「数学」について、『数学Ⅰ』：全範囲、『数学Ⅱ』：全範囲、『数学A』：「図形の性質」「場合の数と確率」のみ、『数学B』：「数列」「統計的な推測」のみ、『数学C』：「ベクトル」のみとします。

注2 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

注3 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類(英語、簿記、情報、数学)1つにつき、5点を加点します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。(10頁 別添1)

(備考)

- ① 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングとリスニングの合計得点を換算します。「リーディング」と「リスニング」の配点割合を4：1とし、合計100点満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
- ③ 大学入学共通テスト「国語」、「地理歴史」、「公民」、「理科」、「情報」、「数学」、「外国語」において4科目以上を受験した場合は、200点満点の科目は100点満点に換算して、得点の高い3科目を合否判定に利用します。

【芸術文化学部 日本文学科】

日程	募集 人員	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト等			配点 合計	
		教科・科目名		配点	教科・科目名等		配点		
前期	30	国語	『国語』	を1	200	国語	『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』	200	720
		地理 歴史 ・公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探 究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	から1	*100				
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』						
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』						
		情報	『情報Ⅰ』			調査書(注1)		10	
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	から1	200	高等学校入学以降の主体 的な取り組み(注2)		10	
			[3教科3科目]	計	500	計		220	
後期	5	国語	『国語』	を1	200	国語	『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』	200	720
		地理 歴史 ・公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探 究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	から1	*100				
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』						
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』						
		情報	『情報Ⅰ』			調査書(注1)		10	
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	から1	200	高等学校入学以降の主体 的な取り組み(注2)		10	
			[3教科3科目]	計	500	計		220	

注1 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。

注2 申請書(任意提出)への加点(10点)です。申請書の提出がなければ当初配点のみで合否判定を行います。
(11頁 別添2)

(備考)

- ① 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングとリスニングの合計得点を換算します。
「リーディング」と「リスニング」の配点割合を4:1とし、合計200点満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
- ③ 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」、「理科」、「数学」、「情報」において2科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。

【芸術文化学部 美術学科】

日程	募集 人員	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト等			配点 合計	
		教科・科目名		配点	教科・科目名等		配点		
前期	22	国語	『国語』	を1	200	その他	実技(注1)	900	1570
		地理 歴史	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	から2	*200 計400				
		公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2) (備考④参照)、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』						
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』						
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』						
		情報	『情報Ⅰ』				学修計画書(注2)		
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	調査書(注3)		20			
			[3教科3科目] 計			600	計		
後期	13	国語	『国語』	を1	100	その他	実技(注1)	900	1270
		地理 歴史	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	から2	*100 計200				
		公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2) (備考④参照)、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』						
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』						
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』						
		情報	『情報Ⅰ』				学修計画書(注2)		
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	調査書(注3)		20			
			[3教科3科目] 計			300	計		

注1 実技検査の詳細については別添3(12頁)を参照してください。

注2 学修計画書は、所定の書式に600字程度の文章で、これまでに取り組んできたことを踏まえ、自分の目標を達成するために入学後何をどのように学びたいかを記述してください。

注3 調査書の「指導上参考となる諸事項」に記載された事項から、「主体性を持って学ぶ態度」「多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。なお、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等を「備考欄」に具体的に記載してください。

(備考)

- ① 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングとリスニングの合計得点を換算します。「リーディング」と「リスニング」の配点割合を4:1とし、前期日程では合計200点満点、後期日程では合計100点満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
- ③ 大学入学共通テスト「地理歴史」、「公民」、「理科」、「数学」、「情報」、「外国語」において3教科・3科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。
- ④ 美術学科で(大学入学共通テスト『地理総合／歴史総合／公共』から2)を受験し、教科「地理歴史」で他科目を受験している場合は教科「公民」の科目として合否判定に利用します。

(3) そ の 他

詳細については、「一般選抜学生募集要項」を参照してください。

5. 私費外国人留学生選抜

全学部・学科において、私費外国人留学生選抜を実施します。

(1) 出願要件

次の各項のすべてに該当する者とします。

- ① 日本の国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
- ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
2027年3月31日までに18歳に達する者で、次のいずれかに該当する者を含む。
 1. 国際バカロレア資格(国際バカロレア事務局)、アビトゥア資格(ドイツ)、バカロレア資格(フランス)、GCEAレベル資格(イギリス)又は国際Aレベル資格、ヨーロッパ・バカロレア資格のいずれかを有する者
 2. 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
 3. 日本において、文部科学大臣が指定するインターナショナルスクールの課程を修了した者(当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程の修了が必要)
 4. 外国における12年の課程修了相当の学力試験に合格した者(当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程での修了が必要)
- ③ 独立行政法人日本学生支援機構が2026年6月21日(日)および2026年11月8日(日)に実施する「2026年度(令和8年度)日本留学試験」の両方またはどちらかを受験した者

*日本留学試験で本学が指定する言語および教科・科目等

出題言語 教科・科目等	日本語	
	学 科	教科・科目等
	経済情報学科	日本語、総合科目、数学
	日 本 文 学 科	日本語
	美 術 学 科	日本語、総合科目

- ④ 日本語能力試験(JLPT)の試験成績においてB2以上と参考表示されていて、留学を継続するための経費支弁能力を有する者

(2) 選抜方法等

- 経済情報学科
小論文と面接を課し、書類審査・小論文・面接の結果および2026年度(令和8年度)日本留学試験の成績を総合して選抜します。
- 日本文学科
小論文と面接を課し、書類審査・小論文・面接の結果および2026年度(令和8年度)日本留学試験の成績を総合して選抜します。
- 美術学科
実技検査・小論文・面接を課し、書類審査・実技検査・小論文・面接の結果および2026年度(令和8年度)日本留学試験の成績を総合して選抜します。実技検査と面接の詳細については別添3(12頁)を参照してください。

(3) そ の 他

詳細については、「私費外国人留学生選抜学生募集要項」を参照してください。

6. 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上特別な措置および修学上特別の配慮を必要とする者は、尾道市立大学入学試験実施本部へ事前に相談してください。

事前相談の受付期限については、各入学者選抜の学生募集要項を参照してください。

別添 1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して

次に掲げる資格を取得している者に対し、その証明書を出願書類とともに提出することを条件として加点します。

加点方法は「取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点（最大で4分野取得により20点加点）」します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。高難度資格を複数分野で取得していても、「高難度資格」による加点は5点のみです。

【加点の対象となる資格】

〈英語〉

- CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠) 対照表(資料1)において「B1」以上

〈簿記〉

- 日商簿記検定試験 3級以上
- 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定 1級(全科目合格)
- 全国経理教育協会 簿記能力検定試験 1級以上(全科目合格)

〈情報〉

- ITパスポート、基本情報技術者およびその上位資格
- 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1級(ビジネス情報部門、プログラミング部門のどちらか一方で可)

〈数学〉

- 日本数学検定協会主催 実用数学技能検定 2級以上

【高難度資格】

〈英語〉 CEFR「B2」以上

〈簿記〉 日商簿記検定試験 2級以上

〈情報〉 基本情報技術者およびその上位資格

〈数学〉 実用数学技能検定 準1級以上

—資料1—

英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定 (英検)	GTEC	IELTS	TEAP	TOEFL iBT® テスト	TOEIC L&R + TOEIC S&W
C2	200 - 230			8.5 - 9.0		114 - 120	
C1	180 - 199	1級合格	1350 - 1400	7.0 - 8.0	375 - 400	95 - 113	1845 - 1990
B2	160 - 179	準1級合格	1180 - 1349	5.5 - 6.5	309 - 374	72 - 94	1560 - 1840
B1	140 - 159	2級合格	930 - 1179	4.0 - 5.0	225 - 308	42 - 71	1150 - 1555
A2	120 - 139	準2級プラス合格 準2級合格	680 - 929		135 - 224		625 - 1145
A1	100 - 119	3級合格	260 - 679				320 - 620

- この対照表は、「各資格・検定試験とCEFRとの対照表(文部科学省平成30年3月作成)」を参考に作成。
- 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
- ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定(英検)およびGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。なおGTECは検定版、CBTタイプのいずれも可とする。
- 実用英語技能検定(英検)は級の合格のみで判断し、英検CSEスコアは用いない。
- TOEIC® Listening & Reading Test およびTOEIC® Speaking & Writing Tests の両方の認定証が必要。TOEIC® Speaking & Writing Tests のスコアを2.5倍にして合算する。IPテスト(団体受験)の成績は活用しない。

別添２ 芸術文化学部日本文学科の「高等学校入学以降の主体的な取り組み」への加点に関して

日本文学科一般選抜(前期日程・後期日程)に「高等学校入学以降の主体的な取り組み」に対する加点(最大10点)をします。志願者の申請を原則とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。取り組みの内容は、探究型学習での研究活動や社会活動等です。「総合的な探究の時間」における学びの履歴や成果等も含みます。アドミッション・ポリシーの観点から定性的かつ総合的に評価します。

【申請方法】

- 出願書類を提出する際に、出願願書、調査書等とともに、「「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書」および「活動実績を裏付ける参考資料」を併せて提出してください。
- 「「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書」は、本学ホームページからダウンロードしてください。なお、「「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書」は志願者本人が作成してください。

【申請にかかる留意点】

- 申請できる活動実績の年限は、高等学校入学後のものとします。
- 申請できる活動実績は、学部・学科の定めるアドミッション・ポリシーとの関連性があるものとします。アドミッション・ポリシーと関連性のない実績については、加点の対象外となります。提出は1件までです。
- 「活動実績を裏付ける参考資料」とは、コンクール入選や資格取得等を証明する資料、新聞や雑誌等に掲載された記事、取り組みや活動実績を証明する資料及び参考資料をさします。これらの複写(コピー)を申請書とは別にして、ステープル(ホッチキス)で留めて提出してください。なお具体的な活動内容や、グループでの取り組みならそこに対してどのような役割を果たし、どう関わったかがわかる資料を添えてください。
- 申請書で以下の5項目を具体的に記述してください。
 - ① 取り組み、活動実績の名称
申請する取り組み、活動実績の名称を記入してください。
例) 高等学校での「総合的な探究の時間」のなかで日本文学科のアドミッション・ポリシーと関わるもの、文学賞等受賞実績、海外語学研修への参加、ビブリオバトル等への参加、〇〇に関する自主的な取り組み等。
 - ② 取り組み、活動実績の主催母体、または資格認定、賞授与等の主体となる機関等の名称
例) 〇〇連盟、〇〇協会、〇〇会社、NPO 法人〇〇〇〇、〇〇自治体、〇〇高等学校等。
 - ③ 取り組みの活動期間、実績等の取得年月
該当する活動期間または実績取得年月を記入してください。
 - ④ 活動実績の概要(400字程度)
申請する取り組み、活動実績等の概要について、具体的に記入してください(規模、参加資格、入賞条件、課題研究の成果等客観的に評価できる情報等があれば可能な限り記入してください)。グループ等で実施した場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記述してください。
 - ⑤ 取り組み、実績と、日本文学科のアドミッション・ポリシーや入学後の学びとの関連性(400字程度)
申請する取り組み内容を通して身に付けたものや経験等が、日本文学科での学びにどのように活かせるかについて記述してください。

別添3 芸術文化学部美術学科の実技検査および面接の実施内容

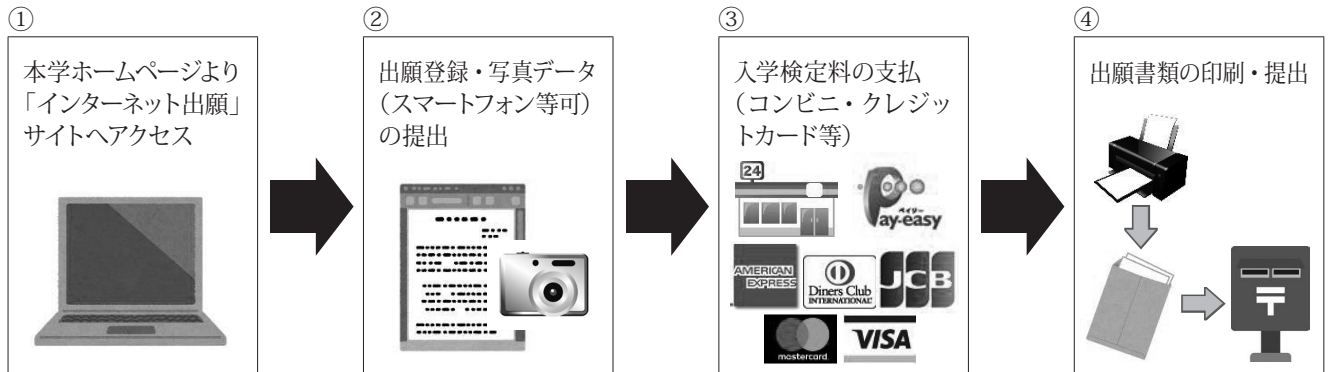
区分		実 施 内 容 等													
学 校 推 薦 型 選 抜	実 技 検 査	制作時間：6時間（ 9：00～12：00・13：00～16：00 ） 検査内容：次の表に示した出題区分A・B・Cの中から、出願時に1つを選択してください。 <table><tr><td>出題 区分</td><td>彩 色 表 現</td></tr><tr><td>A</td><td>着彩写生（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式</td></tr><tr><td>B</td><td>油彩画（F15号キャンバス） 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 （油絵具と水性絵具の併用も可）</td></tr><tr><td>C</td><td>平面構成（B3セントボード） 【持参用具】 水性描画用具一式、定規、 コンパス、製図用具一式</td></tr></table>		出題 区分	彩 色 表 現	A	着彩写生（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式	B	油彩画（F15号キャンバス） 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 （油絵具と水性絵具の併用も可）	C	平面構成（B3セントボード） 【持参用具】 水性描画用具一式、定規、 コンパス、製図用具一式				
	出題 区分	彩 色 表 現													
A	着彩写生（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式														
B	油彩画（F15号キャンバス） 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 （油絵具と水性絵具の併用も可）														
C	平面構成（B3セントボード） 【持参用具】 水性描画用具一式、定規、 コンパス、製図用具一式														
	面 接	自作の作品（5点まで）を持参してください。 ＊持参作品は、平面作品または立体作品とし、表現方法・素材は自由で本人が制作した作品に限ります。 ＊作品は、本人が1人で持ち運びができる大きさに限ります。それ以外の大きさの作品は、写真等をファイルにして持参してください。													
一 般 選 抜（前期・後期）	実 技 検 査	制作時間：6時間（ 9：00～12：00・13：00～16：00 ） 検査内容：次の表に示した出題区分A・B・Cの中から、出願時に1つを選択してください。 <table><tr><td>出題 区分</td><td>第1日目 デッサン</td><td>第2日目 彩色表現</td></tr><tr><td>A</td><td>鉛筆デッサン（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、 フィクサチーフ（定着液）</td><td>着彩写生（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式</td></tr><tr><td>B</td><td>デッサン（MBM木炭紙） 【持参用具】 鉛筆または木炭デッサン用具一式 （鉛筆と木炭の併用も可）、 フィクサチーフ（定着液）</td><td>油彩画（F15号キャンバス） 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 （油絵具と水性絵具の併用も可）</td></tr><tr><td>C</td><td>鉛筆デッサン（B3画用ボード） 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、 フィクサチーフ（定着液）</td><td>平面構成（B3セントボード） 【持参用具】 水性描画用具一式、 定規、コンパス、製図用具一式</td></tr></table>		出題 区分	第1日目 デッサン	第2日目 彩色表現	A	鉛筆デッサン（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、 フィクサチーフ（定着液）	着彩写生（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式	B	デッサン（MBM木炭紙） 【持参用具】 鉛筆または木炭デッサン用具一式 （鉛筆と木炭の併用も可）、 フィクサチーフ（定着液）	油彩画（F15号キャンバス） 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 （油絵具と水性絵具の併用も可）	C	鉛筆デッサン（B3画用ボード） 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、 フィクサチーフ（定着液）	平面構成（B3セントボード） 【持参用具】 水性描画用具一式、 定規、コンパス、製図用具一式
	出題 区分	第1日目 デッサン	第2日目 彩色表現												
A	鉛筆デッサン（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、 フィクサチーフ（定着液）	着彩写生（木炭紙大画用紙） 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式													
B	デッサン（MBM木炭紙） 【持参用具】 鉛筆または木炭デッサン用具一式 （鉛筆と木炭の併用も可）、 フィクサチーフ（定着液）	油彩画（F15号キャンバス） 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 （油絵具と水性絵具の併用も可）													
C	鉛筆デッサン（B3画用ボード） 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、 フィクサチーフ（定着液）	平面構成（B3セントボード） 【持参用具】 水性描画用具一式、 定規、コンパス、製図用具一式													
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	実 技 検 査	制作時間：6時間（ 9：00～12：00・13：00～16：00 ） 検査内容：次の表に示した出題区分の中から、出願時に1つを選択してください。 <table><tr><td>出題区分</td><td>持 参 用 具</td></tr><tr><td>鉛筆デッサン</td><td>鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ（定着液）</td></tr><tr><td>木炭デッサン</td><td>木炭デッサン用具一式、フィクサチーフ（定着液）</td></tr></table>		出題区分	持 参 用 具	鉛筆デッサン	鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ（定着液）	木炭デッサン	木炭デッサン用具一式、フィクサチーフ（定着液）						
	出題区分	持 参 用 具													
鉛筆デッサン	鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ（定着液）														
木炭デッサン	木炭デッサン用具一式、フィクサチーフ（定着液）														
	面 接	自作の作品を持参してください。 ＊持参作品は、平面作品または立体作品とし、表現方法・素材は自由で本人が制作した作品に限ります。 ＊作品は、本人が1人で持ち運びができる大きさに限ります。それ以外の大きさの作品は、写真等をファイルにして持参してください。													

7. 出願方法

【学校推薦型選抜】、【一般選抜（前期日程・後期日程）】、【私費外国人留学生選抜】
インターネット出願で受け付けます（学生募集要項の冊子は配付しません）。

9月上旬より本学ホームページにて、募集要項を公開予定です。詳細については本学ホームページ（<https://www.onomichi-u.ac.jp/>）へアクセスの上、必要に応じダウンロードしてください。

インターネット出願の手順について（概要）



インターネット出願利用時の注意事項

- ・インターネットから出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手续完了となりません。出願書類の印刷および郵送による提出が必要です。
- ・インターネット出願利用時はメールアドレスが必要です。（フリーメールアドレス可。ただし、2027年3月31日まで使用可能で、常時確認できるものとしてください。）また、志願者本人の写真データのアップロードによる提出が必要です。（紙に印刷された写真は提出できません。）
- ・詳細は各入学者選抜の学生募集要項を参照してください。

入試に関する問い合わせ先

尾道市立大学 入学試験実施本部
〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL 0848-22-8311（代表）
0848-22-8381（直通）
FAX 0848-22-5460
（平日 9:00～17:00）

8. 諸費用（前年度）

（1）入学検定料 18,000円

*学校推薦型選抜、一般選抜については出願手続時の支払手数料を含みます。

*私費外国人留学生選抜の入学検定料は、上記の金額の1/2に減額されます。

（出願手続時の支払手数料を含みます。）

（2）入学手続時納付金

区 分	入学手続時納付金	対 象
市 内	282,000円	次のいずれかが尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者 ・本人 ・本人の配偶者または1親等の親族
市 外	423,000円	上記以外の者

*私費外国人留学生の入学手続時納付金は、市外の金額の1/2に減額されます。

*入学手続時納付金は前年度の金額です。

*納入時の振込手数料はご負担ください。

（3）入学後に必要となる経費

項 目	金 額	備 考
授 業 料	535,800円(年 額)	4月、10月に分けて納入
学生教育研究災害傷害保険料	4,660円(4年分)	4月に納入
後 援 会 入 会 金	10,000円	4月に納入
後 援 会 費	50,000円(年 額)	
学 友 会 入 会 金	1,000円	
学 友 会 費	7,000円(年 額)	

*私費外国人留学生の授業料・後援会入会金・後援会費は、上記の金額の1/2に減額されます。

*上記は前年度の金額です。

*美術学科はこの他に、初年度実習費として7万円、3年次に古美術研究旅行費として、20～40万円程度が必要になります。

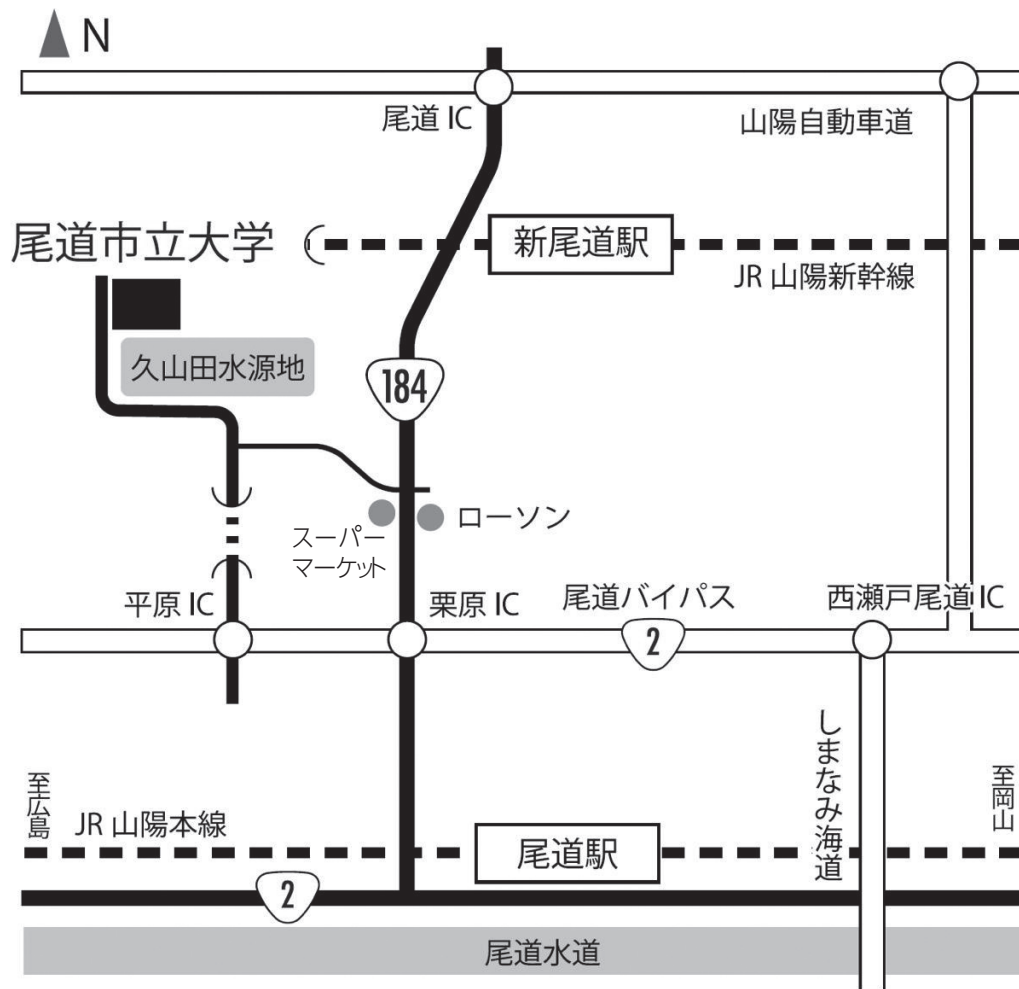
*経済情報学科、日本文学科では、ノート型パソコンが必携となります。詳細は入学前にお知らせしますが、場合によっては新たに購入する必要があります。（前年度大学幹旋ノート型パソコンは13万円程度）

*納入時の振込手数料はご負担ください。

（4）減免手続

大学等における修学の支援に関する法律等に基づく減免手続については、入学後申請手続を行ってください。決定後、減免区分に応じ、減免額を還付します。

9. 尾道市立大学へのアクセス



JR山陽本線尾道駅より

駅前バスターミナル(③番のりば)より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。

JR山陽新幹線新尾道駅より

南口(③番のりば)より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約15分、「尾道市立大学」下車。
タクシー利用で約10分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原IC経由が便利です。

入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

全学

教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

（知識・技能）（思考力・判断力・表現力）

- ・ 学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・ 知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・ 専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

（主体性・多様性・協働性）

- ・ 何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。

全学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細はこちらからご覧ください。



経済情報学科の入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特長としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- ・ 日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- ・ 経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- ・ 現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原理を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

経済情報学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は、以下の通りです。

（知識・技能）

- ① 人間・社会・自然に対する深い理解、経済・経営・情報 3 分野の基礎的な知識の修得につながる「高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能」

（思考力・判断力・表現力）

- ② 問題分析力・解決力・情報収集力やコミュニケーション力につながる
 - ②-a.「高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能をふまえた思考力・判断力」
 - ②-b.「数学的思考力」または「英語の読解力と表現力」
 - ②-c.「専門分野（経済・経営・情報）に関する文章の読解力と自らの考えを論理的にまとめる表現力」

（主体性・多様性・協働性）

- ③ 実社会における実践や問題解決力につながる「責任ある選択・意思決定、組織の仕組みの改善、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に向けて行動しようとする意欲」

【経済情報学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細はこちらからご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性・多様性・協働性
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②-a	②-b	②-c	③
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)	○	○			
			基礎学力検査（英語）(50点)			○		
			小論文（50点）		○		○	
			面接（40点）		○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（5点）		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
		特別推薦A・B	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)	○	○			
			小論文（100点）		○		○	
			面接（40点）		○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（5点）		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
	一般選抜	前期	共通テスト（300点）	○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(数学、英語)（400点）		○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況(25点)		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
		後期A・B	共通テスト（300点）	○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(数学または英語)（200点）		○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況(25点)		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
	留学生外国人 私費外国人 選抜		外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）		○	○		
			日本留学試験（日本語、総合科目、数学）(50点)	○				
			日本留学試験（日本語（記述））(10点)		○	○		
			小論文（50点）		○		○	
			面接（50点）		○		○	○

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

入学までに「基礎学力である高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能」を身につけていることが必要です。特に、問題分析力につながる「基礎的な数学力」や、情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」を身につけていることを重視しています。また、経済・経営・情報への関心を持っていることを評価しています。そのため、これらの話題について日頃から調べたり、関連する資格取得・検定に挑戦したりしていることなどが望まれます。

日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通して言語文化の探究と創造に取り組む活動に重点をおいた教育を展開します。

このような教育理念・目的に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・ 高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につけた人
- ・ 問いをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・ 知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・ 文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・ 読解力・表現力・対話力を活用して協働的に社会に参画する意欲がある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ① 日本語・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法の修得のために、高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につける必要があります。
- ② 周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③ テキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に取り組むために、高等学校等までの学習において、論理的・創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が必要です。

（主体性・多様性・協働性）

- ④ 著名な文学作品を読み、作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止める力が必要です。
- ⑤ 日本語・日本文学を深く研究していくためにことばや文学、文化への知的探究心が必要です。
- ⑥ 他者との議論や対話を通して協働的に学ぶ力が必要です。

【日本文学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細はこちらからご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性		
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④	⑤	⑥
入試区分、検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)		○	○			
			小論文（50点）			○			
			口頭試問	}（40点）		○	○	○	○
			学修調書（学びの履歴と計画）			○	○	○	
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）	○		○	○	○	○
	一般選抜	前期	共通テスト（500点）		○	○			
			教科・科目に係る個別テスト（国語）(200点)	○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）	○		○	○	○	○
			高等学校入学以降の主体的な取り組み(10点)				○	○	○
		後期	共通テスト（500点）		○	○			
			教科・科目に係る個別テスト（国語）(200点)	○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）	○		○	○	○	○
			高等学校入学以降の主体的な取り組み(10点)				○	○	○
	私費外国人留学生選抜		外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）		○	○			
			日本留学試験（日本語）(50点)	○					
			小論文（60点）			○			
			面接（40点）			○	○	○	○

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・「国語」において読む、書く、聞く、話す能力を養い、自分の考えを的確に表現できる文章力やコミュニケーション力を身につけてください。
- ・古典の学習を充分に行い、古典に関する基本的な知識や教養を身につけてください。
- ・文学作品、新聞、言葉や文化について書かれた書物を読んで、思考を深めたり広げたりして、多様な価値観を尊重する態度を養ってください。
- ・周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等での外国語の学習にも意識的に取り組んでください。
- ・その他の教科・科目においても、広い知識を身につけようとする積極性と、常に問題意識を持ち、解決しようとする態度を養ってください。

美術学科の入学者の受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

個々の学生の美に寄せる豊かな感性を尊重しながら、実技教育を通して専門的な知識・技術を獲得させること、また、学生が相互に切磋琢磨する機会を通して、芸術文化に関する幅広い視野を身につけさせることを目的とします。その上で、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、高等学校までの学習を通して培った理解力と思考力、美術の表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・豊かな発想や色感を持ち、構成力、描写力などの基礎的な造形力を持つ人
- ・本学で学修を進めるために必要な基本的な知識、理解力を持つ人
- ・自らの問題意識にしたがって考え、客観的な視点を持つ意欲のある人
- ・自らの感覚や思考を、美術表現や言葉によって他者に伝える意欲のある人
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人
- ・将来的なビジョンを持ち、自らの創造性を高める意欲のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

美術学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ① 持続的な創作活動に必要な造形の知識・技術を修得するために、高等学校までに基礎的なデッサンや彩色の表現力を身につける必要があります。
- ② 造形の知識・技術を活用する上で必要となる様々な考え方を修得するために、高等学校までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③ 自己表現の方向性を探究するために、高等学校までに自身の表現や適性などについて考え、伝える力を身につける必要があります。

（主体性・多様性・協働性）

- ④ 明確な目標を持ちながら、自らの創造性を高めるために、主体性を持って学ぶ態度、多様な人々と協働して学ぶ態度が必要です。

【美術学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細はこちらからご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「芸術（美術）・国語・地理歴史・外国語（英語）の4教科の内、3教科の「学習成績の状況」、及び美術の優れた能力(出願要件)」		○		
			実技試験（50点）	○		○	
			小論文（20点）			○	○
			面接（25点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」(5点)				○
	一般選抜	前期	共通テスト（600点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（50点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」(20点)				○
		後期	共通テスト（300点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（50点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」(20点)				○
	留学生・外国人 私費外国人選抜		外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）		○	○	
			日本留学試験（日本語、総合科目）(10点)		○	○	
			実技（40点）	○		○	
			小論文（20点）			○	○
			面接（30点）			○	○

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・ 基礎的なデッサンや彩色の表現力を培うために、作品の数を積み重ねるだけでなく、質を高めるよう意識してください。
- ・ モチーフとなる対象をしっかりと観察し、形を正確に捉えることに加え、質感の表現などにも注意を払ってみてください。
- ・ 制作を通じて、自身の興味・関心のあるものを探していくことを意識してください。
- ・ 感性を高めるために、展覧会などを訪れて実物に触れることを意識してください。
- ・ 作品や自身の表現について他者と対話する機会を設け、多様な価値観に触れてください。
- ・ 実技に関わるだけでなく、美術以外の科目の学習にも意識的に取り組んでください。

2028年度尾道市立大学入学者選抜（2027年度実施）からの変更点について（予告）

2028年度尾道市立大学入学者選抜（2027年度実施）について、次のとおり変更します。

なお、内容は現時点のものであり、今後変更する場合があります。本学HPで最新の情報を確認してください。

1. 経済情報学部経済情報学科の学校推薦型選抜における選抜方法（基礎学力検査科目）および一般選抜（前期日程）、学校推薦型選抜における入学定員を以下のとおり変更します。

（1）学校推薦型選抜の選抜方法

一般推薦の基礎学力検査（英語）をA基礎学力検査（英語）とB基礎学力検査（数理データサイエンス）のいずれか選択に変更します。

（2）一般選抜（前期日程）の入学定員

一般選抜（前期日程）の入学定員を85名に変更します。

（3）学校推薦型選抜の入学定員

学校推薦型選抜の入学定員を一般推薦のA基礎学力検査（英語）を25名程度に、B基礎学力検査（数理データサイエンス）を25名程度とし、一般推薦の定員を合計50名に変更します。

また、特別推薦の入学定員についても、A尾道市内推薦を7名程度、B商業・総合学科等推薦を28名程度とし、特別推薦の定員を合計35名に変更します。

2. 芸術文化学部日本文学科の一般選抜（前期日程）、学校推薦型選抜における入学定員を以下のとおり変更します。

（1）一般選抜（前期日程）の入学定員

一般選抜（前期日程）の入学定員を28名に変更します。

（2）学校推薦型選抜の入学定員

学校推薦型選抜の入学定員を17名に変更します。

2028年度 学校推薦型選抜の実施教科・科目等

学科	推薦種別	選抜方法等	試験科目	配点
経済情報	(一般推薦)	大学入学共通テストおよび教科・科目に係る個別テストを免除し、基礎学力検査（英語または数理データサイエンス）・小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。	A 基礎学力検査（英語）または B 基礎学力検査（数理データサイエンス）（注1）	50
			小論文	50
			面接	40
			調査書（注2）	5
			取得資格・検定等（注3）	25
	(特別推薦) A 尾道市内推薦 B 商業・総合学科等推薦	大学入学共通テストおよび教科・科目に係る個別テストを免除し、小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。	小論文	100
			面接	40
			調査書（注2）	5
			取得資格・検定等（注3）	25

注1 一般推薦のA基礎学力検査（英語）、B基礎学力検査（数理データサイエンス）のいずれかを出願時に選択してください。

注2 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

注3 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点します。

また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。（別添1）

【参考】2026年度入学者選抜の結果について

(1) 学校推薦型選抜

学部・学科等			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格倍率
経済情報学部 経済情報学科	一般推薦		35	72	72	35	35	2.1
	特別 推薦	A 尾道市内推薦	7	8	7	5	5	1.4
		B 商業・総合学科等推薦	28	46	46	30	30	1.5
芸術文化学部	日本文学科		15	43	43	15	15	2.9
芸術文化学部	美術学科		12	67	67	12	12	5.6

(2) 一般選抜前期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格倍率
経済情報学部 経済情報学科	100	258	238	136	108	1.8
芸術文化学部 日本文学科	30	100	93	37	27	2.5
芸術文化学部 美術学科	23	78	75	24	23	3.1

(3) 一般選抜後期日程

学部・学科等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格倍率
経済情報学部 経済情報学科	Aコース(数学)	15	403	137	49	30	2.8
	Bコース(英語)	15	406	158	42	19	3.8
芸術文化学部	日本文学科	5	124	31	21	14	1.5
芸術文化学部	美術学科	15	152	87	22	21	4.0

(4) 私費外国人留学生選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済情報学部 経済情報学科	若干名	14	6	4	3
芸術文化学部 日本文学科	若干名	3	0	0	0
芸術文化学部 美術学科	若干名	1	1	0	0

(5) 大学総計

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格倍率
経済情報学部 経済情報学科	200	1207	664	301	230	2.2
芸術文化学部 日本文学科	50	270	167	73	56	2.3
芸術文化学部 美術学科	50	298	230	58	56	4.0
合 計	300	1775	1061	432	342	2.5

M E M O

[illegible]

[illegible]

尾道市立大学 入学試験実施本部

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL 0848-22-8311 (代表)
0848-22-8381 (直通)
FAX 0848-22-5460
ホームページ <https://www.onomichi-u.ac.jp/>

